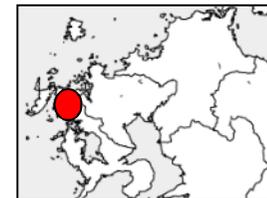


松浦鉄道沿線地域公共交通活性化協議会

平成20年5月15日設置
平成20年6月11日連携計画策定



概要

地域の代表的な交通機関である松浦鉄道の経営環境が厳しさを増す中、他の交通機関との連携事業やパークアンドライド事業等により沿線住民の利便性向上を図り利用者の増大を目指す。また、イベント車両の導入、観光と連携した企画列車の運行等により、沿線外の人々を呼び込み、交流人口の増大につながることで、松浦鉄道沿線地域の活性化を目指す。

- JR九州との連携(実証運行の実施)
- 観光快速列車、イベント列車の運行(観光案内テープ付)
- 訪問証明書(最西端の駅、たびら平戸口の訪問証明書)
- たびら平戸口のレンタサイクル

上記の事業は、それぞれが連携することにより、相乗効果が期待される。JR九州への乗入れは、ハウステンボス駅～佐世保駅間を1日1往復運行しており、上り運行では、佐世保駅からたびら平戸口駅までの観光快速列車とつながる。たびら平戸口は日本最西端の鉄道駅であり、平戸への観光窓口である。平戸観光でレンタサイクルを利用できるように設置している。

- パークアンドライド駐車場 ○パークアンドランド駐輪場
- 駐車場は道路の渋滞が見られる皆瀬駅に、駐輪場は駅までの自転車利用が多い大学駅に整備予定。どちらも公共交通機関への乗り換えを促進することが目的である。

- 共通乗車券の導入
- バス事業者や電気軌道事業者が既に導入している長崎スマートカードICカード乗車券の導入を行うことで、既導入交通機関との相互利用が可能となり、利用者の利便性を図る。

- マイレールフォト絵画コンテスト○着きぐるみ「マックス君」
- マイレール意識の向上や醸成を目指し、フォト及び絵画コンテストの開催や平成20年の事業で作成した着きぐるみを活用する。

